

5月12日（金）国民平和大行進・紀の川市庁舎集会 日本政府は禁止条約の署名・批准を



紀の川市庁舎前交差点



5月12日（金）紀の川市です。集会前、那賀原水協の部屋司好さんと市庁舎を訪問します。総務課にて、岸本健市長のメッセージとペナント、協賛金を受け取ります。市庁舎前の集会は、覺道幸久那賀原水協事務局長が進行します。今年は、平和行進もできるというので参加者が増えました。最初、県実行委員会の主催者挨拶。続いて、岸本健市長のメッセージ紹介です。

「当市は非核平和の町の紀の川市の宣言を行っております。今年の国民平和行進が核兵器全面禁止の世論と運動を高める事を期待しています」と読み上げられます。続いて、わかやま市民生協の原田佳澄が決意表明をします。次いで、門真一郎市議員の連帯の挨拶です。「19日からG7の首脳会議が広島で行われます。広島で開催するのであれば、日本が率先して禁止条約への支持を表明すべきです。そして被爆者の話も聞くべきであります。岸田さんがアメリカのタイムズ誌の表紙を飾っています。タイムズ誌には、日本の選択として、岸田氏は数十年にわたる平和主義を放棄して、日本を真の軍事大国にすることを望んでいると書かれています。日本のマスコミより外国の雑誌の方が本質を突いている。私たちは、残念で恥ずかしいと思います。平和行進では、戦争の危険を招く大軍拡反対と核兵器禁止条約に参加すべきとしっかり訴え、市民の皆さんに声を上げていきたいと思っております」と話されました。最後、和高教北谷さんが「紀の川市集会アピール」を読み上げます。

平和行進は、市役所より出て泉佐野打田線まで歩いて再び市役所まで戻ってくるコースです。打田中学校の校庭では、沢山の方々が平和行進に手を振ってくれています。集会参加は26人でした。5月13日平和行進は岩出市。 県原水協事務局